

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

つながる会
発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

定期総会の開催



新役員・会計監査の方々の挨拶風景

平成28年6月5日(日) 曜日、松ヶ丘集会所で、72名(内委任状24名)の参加を確認後、19時から平成28年度定期総会が開催されました。

平成27年度の事業報告と収支決算報告・会計監査報告が行われました。引き続き新役員・会計監査の選出と平成28年度の事業計画(案)と収支予算(案)が発表され、全員での審議の結果、原案通り可決し無事に総会は終了しています。

今年度の事業計画の大きな特徴は、九つの事業計画と三つの部会とを有機的に組み合わせて各々の事業を押し進める点にあります。

部会は「研修部会」、「広報部会」、「総務部会」の三部会で構成されており、各部会での具体的な事業活動については後述します。

4年目となる平成28年度の活動がスタートしています。引き続き皆様の協力とご支援をよろしくお願い致します。

昨年事業報告

- ①定期総会の開催 6月7日に開催
- ②防災訓練の実施 7月25日に実施
- ③防災施設の研修 11月28日に研修実施
- ④自主防災組織相互の情報交換・相互視察 11月1日 地域防災総合訓練 11月14日 南北貴望ヶ丘 LM自由ヶ丘 楠町 5月4日発行
- ⑤広報紙の発行 2月12日に開催
- ⑥市長まちかどトークの開催 2月13日に開催
- ⑦地域まちづくりシンポジウムへの参加 9月1日に参加
- ⑧河内長野市自主防災協議会主催の防災研修会への参加
- ⑨千代田中学校区青少年健全育成会「千代田パラエティーフESTA」への参加 10月25日に参加
- ⑩第5次総合計画 小学校区「地域別計画」(案)についての説明会の開催 10月23日に開催
- ⑪その他 運営委員会の開催

今年度事業計画

- ①行政と協力して、防災活動を通じてのまちづくりの推進
- ②河内長野市第5次総合計画 楠小学校区地域別計画に定められた施策に取り組む
- ③つながる会主催の防災訓練の実施
- ④各自治会の自主防災組織づくりを支援し、活動の活性化を促進する
- ⑤協定避難場所である大阪暁光高校との連携を図る
- ⑥地域ワークショップの開催
- ⑦地域福祉委員会との連携を図る
- ⑧救急救命訓練等の実施
- ⑨防災用品の購入及びそのPR活動

今年度事業計画

研修部会
地域の自主防災意識を高めるため、会員や自主防災組織を対象として、防災啓発施設等への「防災先進視察」を実施する。

広報部会
自治会等の活動を支援し様々な地域課題や情報を共有し、その解決に向けて連携を促すため広報紙を適宜発行(継続)する。
自治会等を通じて個別配布する。
人材バンク登録者の発掘を行い、広報紙に掲載する。

総務部会
防災マップを作成する。

その他
原則として毎月第2金曜日午後7時30分から松ヶ丘集会所において定例の運営委員会を開催する。

速報

今年は下記の予定で計画が進んでいます (確定後、広報します)

つながる会救急救命訓練	9月 3日(土)	松ヶ丘集会所
つながる会視察研修	10月22日(土)	稲むらの火の館
市地域防災総合訓練	11月 6日(日)	赤峰市民広場
つながる会防災訓練	12月 3日(土)	大阪暁光高校

速報

質問⑦ 住民に対する備蓄品の指導状況

◆1次持出し品について

「1次持出し品」とは、被災時の最初の1日間をしのぐための備蓄品です。災害時、自宅周辺が危険と判断され、急いで避難所等の安全な場所への避難が必要になることもありますので、リュックなどに詰めて準備しておきましょう。

非常食

1日分を用意。
水は500mlを4本ほど入れておく。



救急用品

消毒液、脱脂綿
ガーゼ、包帯
絆創膏、常備薬等



非常用給水袋

給水拠点などで水をもらい保存する。使わない時は折りたたむ。



(その他)

保険証・証書類、現金やカード
懐中電灯(首掛け式は両手が使えて便利)
ラジオ(手回し充電式)
サランラップ(食器に巻く。包帯代わりに使用)着替え用の下着

災害用トイレもしくは大人用オムツ
トイレ不足対策として。



(女性ならではの物品)

生理用品、おりものシート、化粧品、鏡
(赤ちゃん用品)
粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、スプーン、バスタオル

◆2次持出し品について

「2次持出し品」とは、避難したあとで余裕がでてから自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で避難生活を送る上で必要なものです。その中でも食糧に関しては、南海トラフ巨大地震対策として、7日分以上の食糧や飲料水の備蓄を呼びかけています。特別に災害用食糧を用意しなくても、普段購入しているものを上手に活用することでまかなうことができます。

※7日分(1週間)の備蓄食糧(例)

- 《発災1日~2日》冷蔵庫に買い置きしている野菜や冷凍食品、食パン等を食べる。
- 《発災3日~7日》ローリングストック(※)している食材を食べる。
- (例)レトルト主食、米、乾パン、即席めん、ビスケット、クラッカー、せんべい、シリアル類、缶詰等
- (※ローリングストックとは、日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すことを繰り返し、常に新しい非常食を備蓄する方法です。)
- ・普段から多めに食材を買い置きしておき、最初の2日間は冷蔵庫の中のもの食べて、次の5日間は、ローリングストックしている食材でまかないます。
- ・飲料水は、1人1日2~3リットルが目安になります。
- ・調理器具として、カセットガスコンロ・ボンベがあると便利です。カセットボンベは、1本につき約1時間使用できます。1日30分使用した場合は、7日間で約4本が必要です。

備蓄品について

つながる会では平成28年2月12日(金)松ヶ丘集会所において危機管理課より「河内長野市の災害対策」についての説明を受けました。説明会は事前につながる会が用意した10の質問項目に対して答えていた項目についての記事に続いて、今回の説明会の内容を紹介します。

既に楠小学校区にお住まいの方から「備えておくべき防災グッズ」について幾つか問い合わせがありました。質問事項⑦住民に対する備蓄品の指導状況”に対して危機管理課より回答された内容を今回は掲載します。

左記の内容は「あくまでも75ページに掲載されている「非常持ち出し品の備えを」も参考にしてください。

危機管理課より説明し「つながる会」ホームページに掲載していますのでインターネットを使っておられる方はダウンロードしてお使いください。

ホームページをご利用下さい



左の内容が用意されています。

- ①メニューバー
- ②SNS
- ③SNSの利用
- ④SNSの別情報
- ⑤SNSの別情報
- ⑥SNSの別情報
- ⑦SNSの別情報
- ⑧SNSの別情報
- ⑨SNSの別情報
- ⑩SNSの別情報
- ⑪SNSの別情報
- ⑫SNSの別情報
- ⑬SNSの別情報
- ⑭SNSの別情報
- ⑮SNSの別情報
- ⑯SNSの別情報
- ⑰SNSの別情報
- ⑱SNSの別情報
- ⑲SNSの別情報
- ⑳SNSの別情報
- ㉑SNSの別情報
- ㉒SNSの別情報
- ㉓SNSの別情報
- ㉔SNSの別情報
- ㉕SNSの別情報
- ㉖SNSの別情報
- ㉗SNSの別情報
- ㉘SNSの別情報
- ㉙SNSの別情報
- ㉚SNSの別情報
- ㉛SNSの別情報
- ㉜SNSの別情報
- ㉝SNSの別情報
- ㉞SNSの別情報
- ㉟SNSの別情報
- ㊱SNSの別情報
- ㊲SNSの別情報
- ㊳SNSの別情報
- ㊴SNSの別情報
- ㊵SNSの別情報
- ㊶SNSの別情報
- ㊷SNSの別情報
- ㊸SNSの別情報
- ㊹SNSの別情報
- ㊺SNSの別情報
- ㊻SNSの別情報
- ㊼SNSの別情報
- ㊽SNSの別情報
- ㊾SNSの別情報
- ㊿SNSの別情報

編集後記

まちづくり新聞の第十号をお届けします
メール kusunoki.info@gmail.com

http://ksrd.jp/kusunoki/

